

東日本大震災 消防署所の活動及び被害状況に係る調査票
(死者・行方不明者が発生した太平洋に面した消防本部を対象)

調査日：平成 23 年 4 月 13 日

消防本部名	石巻地区広域行政事務組合消防本部	構成職員数	355 名 (H22 版消防年報より)
構成市町村	石巻市、東松島市、女川町	構成署所数	4 消防署 1 分署 9 出張所
調査庁舎名	女川消防署雄勝出張所	庁舎職員数	11 名 (H22 版消防年報より)

調査対象の消防署所位置 (仮庁舎の場合は、被災した庁舎と仮庁舎両方)



○ 庁舎外観

庁舎の全景写真(1)	庁舎の全景写真(2)
	

玄関側及び車庫

車庫側 手前が海側

仮庁舎の全景写真(1)	仮庁舎の全景写真(2)
雄勝総合庁舎敷地内の仮庁舎	プレハブが仮庁舎 瓦礫が残る
庁舎周辺の写真(1)	庁舎周辺の写真(2)
庁舎移転のお知らせ文	建物屋上に上げられた観光バス
仮庁舎周辺の写真(1)	仮庁舎周辺の写真(2)
仮庁舎のある雄勝総合支所 3階まで波が入った	周辺の被害 残っている建物は見られない

活動の様子	
 <p>待機中の消防車両と署員</p>	

○周辺の様子

周辺の被害の様子(1)	周辺の被害の様子(2)
 <p>小学校の建物は残った</p>	 <p>港から離れると多少の建物は残る</p>
周辺の被害の様子 (3)	周辺の被害の様子(4)
 <p>屋根だけ残る民家</p>	 <p>小高い家屋に残る津波襲来の境目</p>

その他、特筆すべき事項

庁舎壊滅。雄勝総合支所内へ移動。車両流失。消防団ポンプ車借り上げにより運用。出場指令の受信は衛星携帯及び携帯消防無線。

出張所の勤務員は、予想津波高5メートルという情報から、事前計画に基づき総合支所構内へ避難したが、その後5メートルを超えるとの引き続きの情報により、車両を放棄し避難していた住民とともに裏山へ避難し、難を逃れた。

以上